

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第155号



2019年8月20日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

046-823-0210 (内線433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9



組合員拡大その2 うわまち病院労組

横須賀市立うわまち病院労働組合では、年々組合員が退職し、減少しています。これ以上減ると大変と、今年に入って組織拡大に力を入れています。まずは退勤調査を行い、56名の方が回答してくれました。この結果をまとめたニュースは、各職場はもちろん、夕方にも配布し、多くの方が受け取ってくれました。その後も職員過半数代表選挙、新入職員の組合説明会、共済説明会など、次々と活動しています。中でも新入職員の説明会では、前日から多くの方が応援に駆けつけていただき50人にチラシを配る事が出来、参加者は29名でした。今までにない人数の方が参加してくれました。残念ながら組合加入してくれたのは1名でしたが、ここ何年も新入職員の組合員がいなかったの、大きな一歩だと思っています。組合があるという事を大きくアピールできた事・多くの仲間の応援があったからだと思います。今後も目に見える組合活動を続けて組織拡大に取り組んでいきたいと思っています。

執行委員長 加藤 江里香

クルージングに56名参加!

8/17(土)、恒例となったクルージングが行われ、56名が参加しました。今回は、食べ放題がなくなったり、フェリー側からオードブル購入を条件づけられたり、台風がなかなか去らなかつたりで心配しましたが、多少うねりは残っていたものの、参加

者一同、楽しい時間を過ごす事ができました。帰りには、浦賀の花火も見ることができました。

組合を結成したばかりの愛加那労組からも9人が参加し、乾き物の小分けを担当してくれて、フラダンスに合わせて踊ったり、とても楽しそうでした。

いらない! 原子力空母夏パレードに参加!

8/18(日)、パレードに、50人が参加しました。原子力空母の横須賀初寄港は1966年の原潜「スヌーク」。原子力艦の滞在日数は通算11,260日で、これは30年を超えています。そして、通算寄港数もまもなく1,000回を超える勢いです。日米の政府も米海軍もこれまで、放射能事故は1度もないと言いますが、2006年には原潜ホノルルのコバルト58と60の検知、2006年から2008年にかけて原潜ヒューストンも放射能を垂れ流し続けていたとのことです。

いらない! 原子力空母では、2008年8月から、毎年春夏冬にパレードを行っており、今回は12/1(日)です。ちなみに秋には毎年、原子力空母の集会が行われています。

